

着眼点

- (1), (2) x, y にいろいろな値を代入する。ただし, $f(0)$ とならないように気をつける。
- (3) $y = -2x$ を代入すると, $f(-x)$ の形がでてくる。
- (4) $f\left(\frac{1}{x}\right)$ の形をつくるためには, $x=1, y=x$ を代入すればよい。計算するとき, $f(x) \neq 0$ であることに注意する。
- (5) x, y にそれぞれ $\frac{b}{a}, \frac{a}{b}$ を代入し, (4)で証明した関係式を利用する。この設問の不等式の証明は, 相加平均と相乗平均の関係を用いてもよい。
- 参考までに, この問題は関数 $f(x) = \frac{1}{x}$ がもつ性質をもとに作問した。

解答例

$$f(x+y)\left\{1+f\left(\frac{x}{y}\right)\right\}=f(x) \quad \dots\dots\textcircled{1} \quad \text{とする}$$

(1) ①に $x=1, y=1$ を代入すると $f(2)\{1+f(1)\}=f(1)$
 条件 I より $f(1)=1$ であるから $2f(2)=1$
 よって, $f(2)=\frac{1}{2}$

①に $x=\frac{1}{2}, y=\frac{1}{2}$ を代入すると $f(1)\{1+f(1)\}=f\left(\frac{1}{2}\right)$
 条件 I より $f(1)=1$ であるから $1 \cdot 2 = f\left(\frac{1}{2}\right)$ よって, $f\left(\frac{1}{2}\right)=2$

(2) ①に $x=2, y=-1$ を代入すると $f(1)\{1+f(-2)\}=f(2)$
 条件 I と(1)より $f(1)=1, f(2)=\frac{1}{2}$ であるから

$$1 \cdot \{1+f(-2)\} = \frac{1}{2} \quad \text{よって, } f(-2) = -\frac{1}{2}$$

①に $x=-2, y=1$ を代入すると $f(-1)\{1+f(-2)\}=f(-2)$
 $f(-2) = -\frac{1}{2}$ であるから $f(-1)\left(1-\frac{1}{2}\right) = -\frac{1}{2}$
 よって $f(-1) = -1$

①に $x=-\frac{1}{2}, y=-\frac{1}{2}$ を代入すると $f(-1)\{1+f(1)\}=f\left(-\frac{1}{2}\right)$
 $f(-1) = -1, f(1) = 1$ であるから $(-1) \cdot (1+1) = f\left(-\frac{1}{2}\right)$ よって, $f\left(-\frac{1}{2}\right) = -2$

(3) ①に $y = -2x$ を代入すると $f(-x)\left\{1+f\left(-\frac{1}{2}\right)\right\}=f(x)$
 $f\left(-\frac{1}{2}\right) = -2$ であるから $-f(-x) = f(x)$
 ゆえに $f(-x) = -f(x)$

(4) 条件 II と(3)より, $x < 0$ のとき, $f(x) < 0$ である
 すなわち, 0 以外のすべての実数 x に対して, $f(x) \neq 0$ である
 ここで, ①に $y=1$ を代入すると $f(x+1)\{1+f(x)\}=f(x) \quad \dots\dots\textcircled{2}$

次に、①に $x=1$, $y=x$ を代入すると $f(1+x)\left\{1+f\left(\frac{1}{x}\right)\right\}=f(1)$

$$f(1+x)\left\{1+f\left(\frac{1}{x}\right)\right\}=1 \quad \dots\dots③$$

③の両辺に $f(x)$ をかけると

$$f(x)f(1+x)\left\{1+f\left(\frac{1}{x}\right)\right\}=f(x) \quad \dots\dots④$$

②と④より

$$f(1+x)\{1+f(x)\}=f(x)f(1+x)\left\{1+f\left(\frac{1}{x}\right)\right\}$$

$f(1+x) \neq 0$ なので

$$1+f(x)=f(x)\left\{1+f\left(\frac{1}{x}\right)\right\}$$

$$1+f(x)=f(x)+f(x)f\left(\frac{1}{x}\right)$$

よって

$$f\left(\frac{1}{x}\right)=\frac{1}{f(x)} \quad \text{が成り立つ}$$

(5) ①に $x=a$, $y=b$ を代入すると

$$f(a+b)\left\{1+f\left(\frac{a}{b}\right)\right\}=f(a) \quad \dots\dots⑤$$

①に $x=b$, $y=a$ を代入すると

$$f(b+a)\left\{1+f\left(\frac{b}{a}\right)\right\}=f(b) \quad \dots\dots⑥$$

⑤+⑥から

$$f(a+b)\left\{2+f\left(\frac{a}{b}\right)+f\left(\frac{b}{a}\right)\right\}=f(a)+f(b)$$

したがって、 $f\left(\frac{a}{b}\right)+f\left(\frac{b}{a}\right) \geq 2$ を証明すればよい

ここで、(4)で証明した $f\left(\frac{1}{x}\right)=\frac{1}{f(x)}$ より $f\left(\frac{b}{a}\right)=\frac{1}{f\left(\frac{a}{b}\right)}$

また、条件IIより、 $\frac{a}{b} > 0$ なので、 $f\left(\frac{a}{b}\right) > 0$ である

$$f\left(\frac{a}{b}\right)=t \text{ とおくととき} \quad f\left(\frac{b}{a}\right)+f\left(\frac{a}{b}\right)-2=t+\frac{1}{t}-2=\frac{(t-1)^2}{t} \geq 0$$

ゆえに

$$f\left(\frac{b}{a}\right)+f\left(\frac{a}{b}\right) \geq 2$$

よって $f(a)+f(b)=\left\{2+f\left(\frac{b}{a}\right)+f\left(\frac{a}{b}\right)\right\}f(a+b) \geq (2+2)f(a+b)=4f(a+b)$

したがって $f(a)+f(b) \geq 4f(a+b)$ が成り立つ